

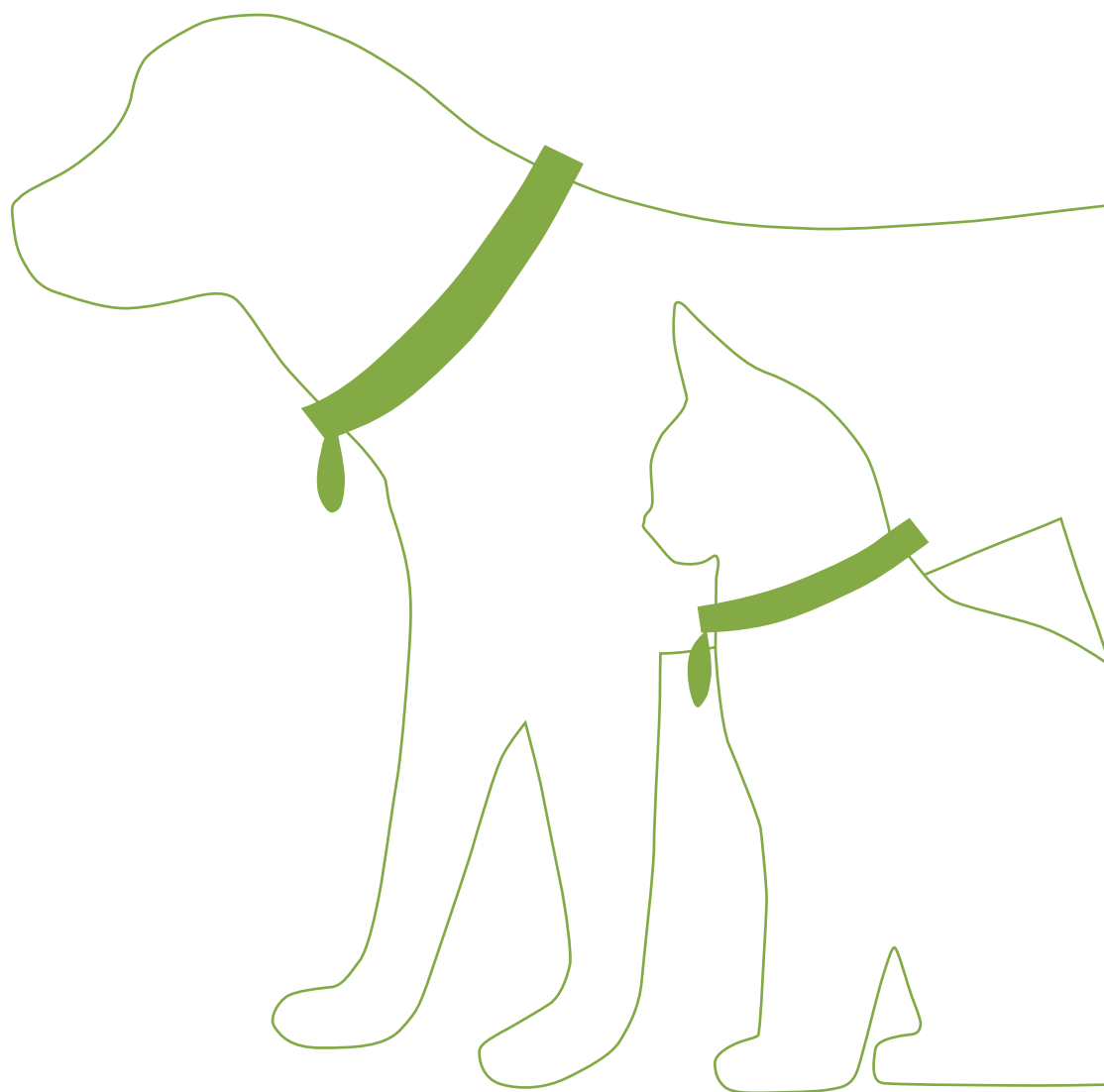
平成 26 年度事業のご報告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

# ペットベスト少額短期保険の現状

ディスクロージャー誌

# 2015



ペットベスト少額短期保険株式会社

## はじめに

平素より、皆さまにはペットベストをお引き立ていただきまして、  
誠にありがとうございます。

このたび、当社の事業概況や財務状況などをご説明するために  
ディスクロージャー誌「ペットベスト少額短期保険の現状 2015」  
を作成いたしました。

本誌が当社をご理解いただく一助になれば幸いです。

今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう

お願い申し上げます。



### 会社概要（平成 27 年 3 月 31 日現在）

社名 : ペットベスト少額短期保険株式会社  
本社所在地 : 東京都千代田区九段南四丁目 6 番 10 号  
代表者 : 代表取締役社長 石原 尚樹  
設立 : 平成 18 年 6 月 8 日  
資本金 : 12 億 9090 万円（資本金 7 億 7820 万円、資本準備金 5 億 1270 万円）

最新情報については、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.petsbest.co.jp/>

本誌は「保険業法第272条の17において準用する保険業法第111条及び同施行規則第211条の37」に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

## 目次

---

### I. 当社の概況及び組織に関する事項

1. 経営の組織
2. 株式の状況
3. 役員 の 状況

### II. 主要な業務に関する事項

1. 主要な業務の内容
2. 平成 26 年度における業務の概況
3. 直近の 3 事業年度における主要な業務の状況を示す指標
4. 直近の 2 事業年度における業務の内容
5. 責任準備金の残高の内訳

### III. 運営に関する事項

1. リスク管理の体制
2. コンプライアンス(法令遵守)の体制  
コンプライアンス宣言  
お客様の声に対する取り組み  
反社会的勢力に対する基本方針  
利益相反管理方針  
個人情報保護に関する基本方針  
勧誘方針

### IV. 財産の状況

1. 計算書類  
損益計算書  
貸借対照表  
キャッシュ・フロー計算書  
株主資本等変動計算書
2. 保険金等の支払能力の充実の状況
3. 有価証券または金銭信託の取得価額または契約価額、時価および評価損益

# 当社の概況 及び組織に関する事項

1. 経営の組織
2. 株式の状況
3. 役員の状況

# 1. 経営の組織

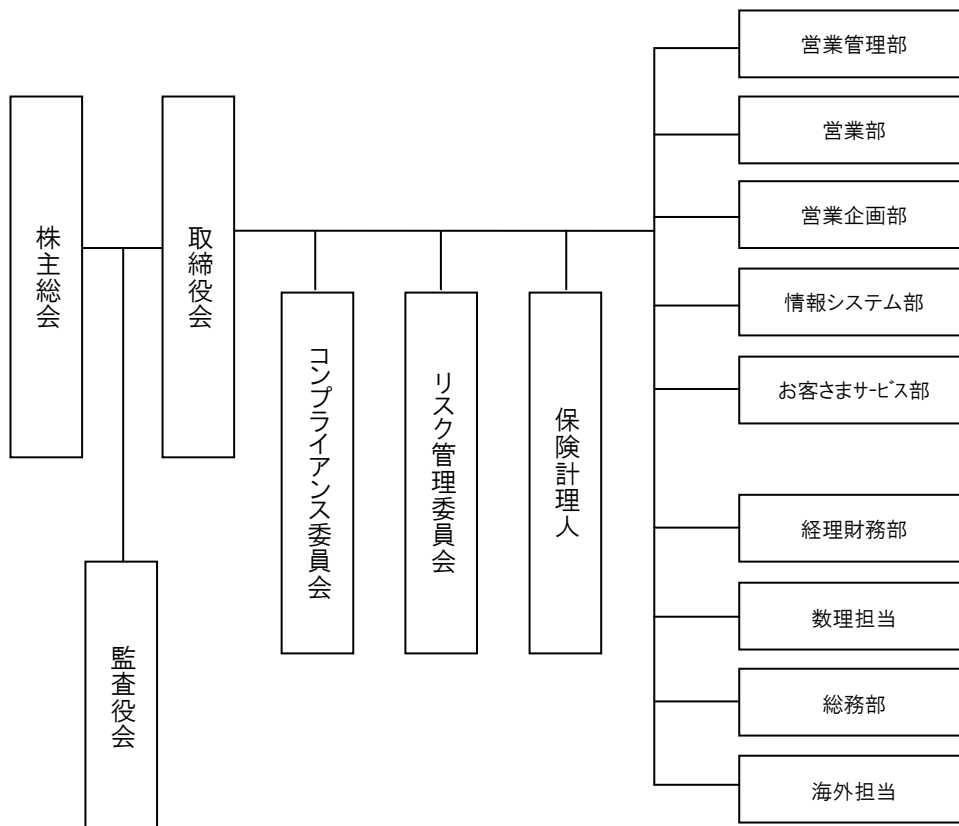
## コーポレートミッション

私たちペットベスト少額短期保険株式会社は、ペット保険の普及を通じて、人とペットの豊かな共生社会の実現に貢献するとともに、盲導犬、聴導犬、介助犬などの補助犬の育成、アニマル・セラピー犬の普及およびペットシェルターの開設などの社会貢献を推進していきます。

## 会社の沿革

2006年6月8日	PETS BEST INSURANCE 株式会社を設立
2009年2月16日	少額短期保険業登録
2009年2月16日	ペットベスト少額短期保険株式会社へ商号変更
2009年8月3日	保険募集開始

## 組織図



## 2. 株式の状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

株式数 発行可能株式総数 400,000株  
発行済株式の総数 46,608株

当年度末株主数 108名

### 主な株主

株主の氏名又は名称	当社への出資状況	
	持株数等	持株比率
野永 巖	19,550株	41.9%
PETS BEST INSURANCE SERVICES,LLC.	4,018株	8.6%
佐々木 将雄	3,020株	6.5%
伊藤 雅彦	2,222株	4.8%
高木 裕	1,600株	3.4%
川田 規人	1,100株	2.4%
藪 旅人	1,000株	2.1%
株式会社 ノムラシステムコーポレーション	1,000株	2.1%
中條 重典	1,000株	2.1%
TAMインキュベーター株式会社	600株	1.3%
Seed Technology Capital Partners投資事業組合	600株	1.3%
西村 利夫	600株	1.3%
加藤 正弘	600株	1.3%

## 3. 役員 of 状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

氏名	地位及び担当	重要な兼職
石原 尚樹	代表取締役社長	なし
福田 正壽	取締役副社長	なし
南 英明	取締役	なし
渡邊 安弘	取締役(社外)	Seed Technology Capital Partners投資事業組合 業務執行組合員代表
伊藤 雅彦	取締役(社外)	有限会社伊藤動物病院 代表取締役・獣医師
佐々木 将雄	取締役(社外)	佐々木動物病院院長・獣医師
ジャック・スティーブンス	取締役(社外)	PETS BEST INSURANCE SERVICES,LLC取締役
グレッグ・マクドナルド	取締役(社外)	PETS BEST INSURANCE SERVICES,LLC最高経営責任者
友永 靖治	常勤監査役(社外)	なし
酒谷 佳弘	監査役(社外)	ジャパン・マネジメント・コンサルティング株式会社 代表取締役
大久保 靖治	監査役(社外)	なし

## 主要な業務に関する事項

1. 主要な業務の内容
2. 平成 26 年度における業務の概況
3. 直近の 3 事業年度における主要な業務の状況を示す指標
4. 直近の 2 事業年度における業務の内容
5. 責任準備金の残高の内訳

# 1. 主要な業務の内容

## 取扱商品

名称: ペット医療保険／ペット傷害保険

日本国内において、被保険者であるお客様(以下、「お客様」といいます。)の家庭で愛玩・伴侶動物として飼養・保管し、かつお客様と同居している犬または猫が、保険期間中の発症または急激かつ偶然な事故によって病気またはケガを被り、その直接の結果として、平常の生活ができなくなり、かつ獣医師による医療行為を受けた場合に、ペット医療保険であれば病気またはケガにかかった医療費用に対して、ペット傷害保険であればケガにかかった医療費用に対して、保険証券に記載された金額を限度として保険金をお支払いする保険です。

## 保険の募集体制

研修・教育・監督体制については、代理店委託契約にあたって、保険の基礎知識・少額短期保険業の役割と特色、遵守すべき法令等、保険商品の概要について教育を実施し、営業部指導のもと定期的に代理店コンプライアンス研修を実施しております。併せて、適切な保険募集体制が確保されているかについて確認する為、定期的に代理店業務監査を実施しております。

## 保険金のお支払い

当社は、保険金のお支払は最も重要な業務の1つであると認識し、迅速かつ公平・公正な保険金のお支払いが行えるよう、業務体制を整備しております。

保険金のご請求やご相談窓口として保険金センターを設置し、迅速かつ丁寧に対応させていただいております。また、保険金のお支払いの可否にかかる判断にあたっては、状況に応じて事実関係の調査・確認等を行い公平性のある保険金のお支払いに努めております。

審査および金額の確認を行った後、特別な場合を除き、保険金請求書類到着後 15 営業日以内にご指定いただいた飼い主さまご本人の口座にお振り込みいたします。



## 2. 平成 26 年度における業務の概況

### (1) 事業の経過および成果等

当事業年度におけるわが国経済は、政府主導による経済政策、円安の定着などの影響もあり緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税、不安定さを残す海外状況など未だ懸念材料は多く、依然として先行きは不透明な状況にあるといえます。

この様な中、ペット市場全体においては、縮小傾向にあった前事業年度と比べ、当事業年度は 4 年ぶりに市場が拡大しており、特に猫の飼育率においては犬の飼育率を超える増加を見せております。

また、ペット保険取扱各社においても、保有契約件数および収入保険料のいずれにおいても前年度と同水準の伸展率を維持しております。

ただ、欧米諸国と比べてペット保険商品の認知度は依然低く、国内における加入率は 5% 前後と未だ低水準となっております。

この様な環境の中、当社は前年度に続き楽天インシュアランスプランニング株式会社の「楽天の保険」年間ペット保険人気商品ランキングにおいて第 1 位の獲得を継続しており、インターネットからのご加入者の増加傾向はより顕著となっております。

当社の平成 26 年度の目標は、「財務の健全化」、「早期の単月黒字化」、「新規契約件数 10,000 件の獲得」、「契約更新率 85%」、「損害率 25%」を設定し、事業を推進してまいりました。

新契約の獲得においては、インターネットを活用したさらなる加入拡大をめざし、SEO、DSP、SNS、リマーケティング、リスティング広告等を積極的に推進してまいりました。特に、楽天インシュアランスプランニング株式会社の「楽天の保険」年間ペット保険人気商品ランキングにおいて 3 年連続第 1 位を獲得したこと、および他の広告手法を採用したことによる効果により、当社のホームページから直接お申込みをされる(直扱)新規契約件数が顕著に増加いたしました。

その結果、新規契約件数は、5,660 件(対前年比 112.73%)を確保いたしました。販売チャネル別では当社の強みと言えるインターネットによる占率が直扱 51.4%、代理店扱 44.3%と合わせて 95.7%となりました。残りの 4.3%が専業保険代理店等となっております。特にインターネットによる加入率は前期の 93.1%から 2.6 ポイントに増加しております。

保有契約件数は、13,646 件(対前年比 151.3%)、保険料等収入は 364,731 千円(対前年比 165.2%)となりました。当年度においても、当社はペット保険業界における平均伸展率を大幅に上回る結果となりました。特に収入保険料(元受収入保険料)に関しては、平成 23 年度 35,863 千円、平成 24 年度 111,929 千円、平成 25 年度 220,651 千円、そして平成 26 年度 364,731 千円と 3 年前の収入保険料の約 10 倍を確保していることから順調に事業は拡大しているといえます。

一方、保有契約件数の増加に伴い責任準備金等の積増負担の増加、および会社に内在する様々なリスク要因が増加したことで、中間期の決算におきましてはソルベンシー・マージン比率が大きく下落する事態となりましたが、社内改革および再保険の取り組み開始などの施策を実行したことにより、当年度末においては 200% を大きく上回る 482.4%を確保する結果となりました。

キャッシュフローに関しましては、収入保険料の増加に対し、事業費の削減努力を継続したことにより、年度末には単月黒字を達成することができました。

契約更新率につきましては、年度目標として 85%を計画し、更新率を高める為の継続勧奨施策が功を奏し、結果として 83.9%と高水準を維持しました。

損害率につきましては、一般にペット保険事業においては新契約および保有契約件数の増加に比例して保険金の支払件数も増加傾向にあります。当社においては、契約者保護、契約者サービスの充実を基本姿勢と

して、契約者間の公平性を保つ観点から精度の高い査定を実施しております。結果として、目標の範囲内の30.3%と、業界トップクラスの低水準を維持しました。

以上により、経常収益は、380,403 千円(対前年比 172.4%)と大幅増となったものの、保険業法第 113 条繰延資産の償却費 74,513 千円の計上を行ったことなどにより、前年度よりも損失額は大幅に減少したものの、経常損益▲83,167 千円(前年度▲171,479 千円)、当期純損益▲85,289 千円(前年度▲173,062 千円)の損失計上となりました。

## (2)資金調達についての状況

当事業年度は、第三者割当増資により 20,000 千円の資金調達を実施し、営業資金等に充当いたしました。

### 3. 直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

(単位:千円、株、%、人)

区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
正味収入保険料	110,947	217,950	292,534
経常収益	112,020	220,664	380,403
経常利益	△145,856	△171,479	△83,167
当期純利益	△132,456	△173,062	△85,289
資本金	738,700	768,200	778,200
発行済株式総数	45,028	46,208	46,608
保険業法上の純資産額	298,458	190,976	134,533
総資産額	372,729	286,728	249,467
責任準備金	30,428	55,327	47,128
有価証券残高	—	—	—
ソルベンシー・マージン比率	378.0	208.5	482.4
配当性向	—	—	—
従業員数	8	9	8

### 4. 直近の2事業年度における業務の状況

#### (1) 主要な業務の状況を示す指標

##### ① 正味収入保険料

(単位:千円)

	平成 25 年度	平成 26 年度
ペット保険	217,950	292,534

※ 正味収入保険料とは、元受収入保険料から再保険料を控除し、再保険返戻金を加えたものをいいます。

##### ② 元受正味保険料

(単位:千円)

	平成 25 年度	平成 26 年度
ペット保険	217,950	315,499

※ 元受正味保険料とは、元受保険料から解約返戻金およびその他返戻金を控除したものをいいます。

##### ③ 支払再保険料

該当ありません。

##### ④ 保険引受利益

(単位:千円)

	平成 25 年度	平成 26 年度
ペット保険	△7,395	110,683

※ 保険引受利益とは、保険引受収益から保険引受費用および保険引受にかかる営業費および一般管理費を控除したものです。

⑤ 正味支払保険金

(単位:千円)

	平成 25 年度	平成 26 年度
ペット保険	56,924	102,482

※ 正味支払保険金とは、保険金および給付金から回収再保険金を控除したものです。

⑥ 元受正味保険金

(単位:千円)

	平成 25 年度	平成 26 年度
ペット保険	56,924	102,482

※ 元受正味保険金とは、保険金および給付金を合算したものです。

⑦ 回収再保険金

該当ありません。

(2)保険契約に関する指標

① 契約者配当金

該当ありません。

② 正味損害率、正味事業費率およびその合算率

(単位:%)

	平成 25 年度			平成 26 年度		
	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率
ペット保険	26.1	140.4	166.5	35.0	106.1	141.1

※ 正味損害率とは、正味支払保険金を正味収入保険料で除したものです。

正味事業費率とは、正味事業費を正味収入保険料で除したものです。

正味事業費とは、事業費から再保険手数料を控除したものです。

事業費は、事業費から保険業法第113条繰延額を控除し、保険業法第113条繰延資産償却費を加算したものです。

③ 元受損害率、元受事業費率およびその合算率

(単位:%)

	平成 25 年度			平成 26 年度		
	元受損害率	元受事業費率	合算率	元受損害率	元受事業費率	合算率
ペット保険	26.1	140.4	166.5	30.3	91.7	122.0

※ 元受損害率とは、元受正味保険金に損害調査費を加算したものを既経過保険料で除したものです。

元受事業費率とは、事業費を既経過保険料で除したものです。

④ 再保険を引受けた保険会社等

ミュンヘン再保険会社

⑤ 再保険を引受けた保険会社等のうち支払再保険料上位 5 社に対する割合

ミュンヘン再保険会社 1 社のみ。

⑥ 再保険を引受けた保険会社等の格付ごとの支払再保険料の割合

ミュンヘン再保険会社 1 社のみ。

⑦ 未収再保険金

該当ありません。

### (3)経理に関する指標

#### ① 支払備金および責任準備金

(単位:千円)

区 分	平成 25 年度		平成 26 年度	
	支払備金	責任準備金	支払備金	責任準備金
ペット保険	19,691	55,327	18,734	47,128

#### ② 利益準備金および任意積立金の残高

利益準備金および任意積立金は積み立てておりません。

#### ③ 損害率の上昇に対する経常損失の変動

損害率上昇の仮定	発生損害率が1%上昇すると仮定します。		
計算方法	増加する発生損害額は、既経過保険料の1%に相当します。 異常危険準備金の取崩しは考慮しません。 したがって、経常損失の増加額は増加損害額と同額になります。		
経常損失の増加額	平成 25 年度		平成 26 年度
	1,996 千円		3,212 千円

### (4)資産運用に関する指標等

#### ① 資産運用の概況

(単位:千円、%)

区 分	平成 25 年度		平成 26 年度	
	残高	構成比	残高	構成比
現預金	72,873	25.4	69,184	27.7
金銭信託	—	—	—	—
有価証券	—	—	—	—
運用資産計	72,873	25.4	69,184	27.7
総資産	286,728	100.0	249,467	100.0

#### ② 利息配当収入の額および運用利回り

(単位:千円、%)

区 分	平成 25 年度		平成 26 年度	
	収入金額	利回り	収入金額	利回り
現預金	12	0.02	16	0.02
金銭信託	—	—	—	—
有価証券	—	—	—	—
合計	12	0.02	16	0.02

#### ③ 保有有価証券の種類別の残高および合計に対する構成比

該当ありません。

#### ④ 保有有価証券利回り

該当ありません。

#### ⑤ 有価証券の種類別の残存期間別残高

該当ありません。

## 5. 責任準備金の残高の内訳

(単位:千円)

区分	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金	合計
ペット保険	26,823	20,305	—	47,128
その他の保険	—	—	—	—
合計	26,823	20,305	—	47,128

## 運営に関する事項

1. リスク管理の体制
2. コンプライアンス（法令遵守）の体制
  - コンプライアンス宣言
  - お客様の声に対する取り組み
  - 反社会的勢力に対する基本方針
  - 利益相反管理方針
  - 個人情報保護に関する基本方針
  - 勧誘方針

# 1. リスク管理の体制

## (1) 基本的な考え方

会社を取り巻く経営環境は常に変化し、複雑かつ多様なリスクを抱えるようになってきました。このリスクを的確に把握、分析し、適切にコントロールしていくことは、当社事業を健全かつ適切な業務運営を行うためには不可欠な要件でもあり、ひいてはお客様の信頼に応え、企業価値を高めていくためにも重要な経営課題であると認識しています。

このような認識のもと、以下のとおり、リスクを適切に管理する態勢を整え、健全かつ適切な業務運営に役立てています。

### リスク管理規程

経営の健全性と収益力の向上を確保し、業務の円滑な運営を行うことを目的として「リスク管理規程」を定め、リスク管理に係る組織・体制、リスクの定義、レポーティングルールなど、当社のリスク管理全般に関する基本的事項を明確化しています。

また、業務遂行において想定されるリスクについては、所管部門を定め個別にリスク管理に取り組んでいます。

### リスク管理委員会

当社は、各種リスクの定期的なモニタリング、リスクの適切なコントロールを行うため、取締役会直属の機関として「リスク管理委員会」を設置し、リスク管理態勢の整備、高度化に取り組んでいます。

## (2) 各種リスクへの対応

保険引受リスク	①商品の開発・改定を行うに際して、適切な保険約款・保険料率の設定がされなかったなどの商品改定等に関するリスク②個別の保険契約の引受けを行うにあたり、会社の引受審査方針に則った引受がなされないなどの個別契約引受に関するリスク③適切な責任準備金または支払備金の積立が行われないリスクなどにより、会社が損失を被るリスクを管理する。
資産運用リスク	市場リスク、信用リスク、市場流動性リスクにより、資産に係る損失を被るリスクを管理する。
流動性リスク	資金流出や資金の運用・調達期間の著しい不一致によって資金調達が難しくなることにより損失を被るリスクを管理する。
事務リスク	社員・代理店等の事務ミス、不適正または不正な処理により、直接または間接に損失を被るリスクを管理する。
システムリスク	コンピューターシステムの停止や誤作動、不正利用、セキュリティ対策の不備などが原因で、直接または間接に損失を被るリスクを管理する。
法務リスク	コンプライアンス違反もしくは法律紛争の発生により損失を被るリスク、および、法令等の新設・変更を予期しなかったために損失を被るリスクを管理する。
レピュテーションリスク	会社および会社業務に密接な関係を有する者に関する否定的な評価・評判が流布されることにより、会社の信用やブランド価値等が悪化し、結果的に不利益を被るリスクを管理する。
事故・災害・犯罪リスク	事故・災害・犯罪に起因して、会社または代理店等、当社業務に密接な関連を有する者が、その生命・身体・資産・情報・信用・業務遂行能力に被害を受けることにより、会社が損失を被るリスクを管理する。



## 2. コンプライアンス（法令遵守）の体制

### コンプライアンス宣言

お客様に満足いただくことをすべての活動の原点におき、人とペットの豊かな共生社会の実現に貢献することが当社の経営理念です。当社では、コンプライアンスプログラムに基づく社内研修等を行い、コンプライアンスの徹底を最優先に取り組むことをここに宣言いたします。

#### 基本方針

当社は、次に掲げる基本方針に基づき、コンプライアンスに積極的に取り組みます。

- ① 保険事業の高い公共的使命および社会的責任を意識し、自己責任原則に則った健全な業務運営を通じて、社会的信頼確保に努めます。
- ② 法令や社内規程等を遵守するとともに、社会的規範および企業倫理に準拠した適正な企業活動を遂行します。
- ③ 公正な競争と効率的な経営を通じて、お客様のニーズに応える質の高い商品・サービスを提供し、社会・経済の発展に貢献します。
- ④ 経営情報の積極的かつ公正な開示に努めるとともに、広く社会とのコミュニケーションを図ります。
- ⑤ あらゆる人の基本的人権を尊重し、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対し、断固とした姿勢で臨みます。

#### 行動基準

- ① 法令および社内規程等を遵守し、社会的規範および倫理に基づき、良識を持って誠実に行動します。
- ② 法令および社内規程等に違反する行為を発見した場合には、適正に対処します。
- ③ 業務上知り得たお客様、委託先、役員および従業員等に関する情報、および公表していない社内情報を他に漏らしません。
- ④ 個人の人格を尊重し、差別のない環境、風土を作るよう努めます。

## 勧誘方針

### お客様の視点に立った販売・勧誘につとめます。

- ① お客様の保険に関する知識、購入経験、家族状況、財産状況、購入の目的等を商品特性に応じて総合的に勘案させていただき、お客様のご意向と実情に沿った商品の説明と提供に努めます。
- ② 商品についての重要事項をお客様に正しくご理解いただけるよう適切な説明に努めます。
- ③ お客様にご迷惑をおかけする時間帯や場所、方法での勧誘はいたしません。
- ④ お客様と直接対面しない勧誘・販売（インターネット販売、通信販売など）を行う場合には、説明方法などに工夫を凝らし、お客様にご理解いただけるよう努めます。

### お客様にご満足いただけるように、適切な対応をいたします。

- ① お客様のお問い合わせには、迅速、適切、ていねいな対応に努めます。
- ② お客様に対して公正な事務処理を行うとともに、万が一保険事故が発生した場合には、保険金等のお支払について迅速、的確、ていねいな対応と適正な支払に努めます。
- ③ お客様のご意見、ご要望を真摯に受け止め、商品開発や販売活動に活かしてまいります。

### 法令を遵守いたします。

- ① 金融商品の販売等に関する法律、消費者契約法、保険業法、個人情報の保護に関する法律その他の関連法令等を遵守します。
- ② 適切な業務を確保するために、社内体制の整備・向上と販売にあたる者の研修に取り組みます。
- ③ お客様のプライバシーを尊重するとともに、お客様に関する情報については、適正な取扱いと管理をいたします。

以上の方針は、「金融商品販売等に関する法律（平成12年法律第101号）」に基づく当社の「勧誘方針」です。

#### ご相談・お問い合わせ窓口

ペッツベスト少額短期保険株式会社 お客様相談窓口

TEL:(フリーダイヤル) 0120-744-125 受付時間:10:00~18:00 土・日・祝日・年末年始を除く

# お客様の声に対する取り組み

## 基本理念

お客様がすべての活動の原点であり、『お客様の声』を真摯に受けとめ、積極的に企業活動に生かします。

## 行動指針

- 『お客様の声』を、感謝の気持ちを持って真摯に受けとめます。
- 『お客様の声』に対して、組織を挙げて迅速に、かつ、誠意をもって対応します。
- 『お客様の声』を、商品・サービスの改善に積極的に活かし、企業の品質向上に努めます。
- 『お客様の声』をもとに、より多くの「安心と安全」をお届けし、お客様の満足度の向上に努めます。

## ご意見・苦情のお申し出について

### 当社へのご意見・苦情の受付窓口

当社では、お客様からの保険商品・サービス等に関するご意見・苦情等のお申し出を、下記の窓口で承っています。お申し出いただいたご意見・苦情につきましては、真摯に受け止め対応を行ってまいります。

#### ペットベスト少額短期保険株式会社 お客様相談窓口

TEL : (フリーダイヤル) 0120-744-125

受付時間: 10:00~18:00(土、日、祝日ならびに年末年始休業期間を除く)

### 指定紛争解決機関(ADR機関)

当社の保険商品・サービス等に関するご相談および苦情につきましては、お客様の必要に応じて、一般社団法人日本少額短期保険協会が運営し、当社が契約する指定紛争解決機関『少額短期ほけん相談室』をご利用いただくこともできます。

当機関は、お客様からのご相談および苦情を受け付け、お客様と当社との間で生じた紛争を公正かつ中立の立場から解決支援する機関です。

#### 少額短期ほけん相談室

TEL : (フリーダイヤル) 0120-82-1144 FAX : 03-3297-0755

受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:00(土、日、祝日ならびに年末年始休業期間を除く)

## 反社会的勢力に対する基本方針

ペッツベスト少額短期保険株式会社(以下、「当社」)は、反社会的勢力との関係を遮断し、不当要求に対して毅然とした態度で拒絶することにより、少額短期保険業者としての公共の信頼を維持し、業務の適切性及び健全性を確保するため、以下の通り基本方針を定めます。

1. 当社は、反社会的勢力とは取引を含めた一切の関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。
2. 当社は、反社会的勢力による不当要求に対して、組織全体として対応するとともに、対応する従業員の安全確保に努めます。
3. 当社は、反社会的勢力による不当要求に対して、積極的に警察、暴力追放推進センター、弁護士等の外部専門機関に相談するとともに、脅迫・暴力行為の危険性が高く緊急を要する場合には直ちに管轄警察署に通報します。
4. 当社は、反社会的勢力による不当要求に対して、あらゆる民事上の法的対抗手段を講じるとともに、被害が生じた場合には刑事事件として被害届の提出または告訴・告発を行います。
5. 当社は、いかなる理由があっても、事案を隠ぺいするための反社会的勢力との裏取引、資金提供等は絶対に行いません。

# 利益相反管理方針

ペッツベスト少額短期保険株式会社(以下、「当社」といいます)は、お客様の利益が不当に害されることのないよう、法令等および本方針に従い、利益相反のおそれのある取引を適切に管理します。

## 1. 目的

本方針の対象となる「利益相反のおそれのある取引」(以下、「対象取引」といいます)とは、当社等が行なう取引のうち、当社等とお客様の間、またはお客様とお客様以外の第三者(他のお客様等)間の利益が相反し、お客様の利益を不当に害するおそれのある取引をいいます。

## 2. 定義

対象取引を特定するにあたっては、「お客様の利益を最優先に行動しているかどうか」、「お客様の情報を利用して、不当に利益を得るおそれがあるかどうか」等の視点から取引を検証し、特定・類型化を行なったうえで管理いたします。また、新規業務の開発や法令等改正といった環境の変化にも的確に対応し、対象取引の特定・類型化を行ないます。

## 3. 利益相反のおそれのある取引の種類

対象取引を以下に掲げる類型に分類しています。

- (1) お客様の利益と当社の利益が対立する場合において、当社の利益を得ることを優先する取引
- (2) お客様の情報を利用して、当社が利益を得る取引
- (3) お客様相互間の利益の対立等に乗じて、当社が利益を得る取引
- (4) その他、当社がお客様の利益を害していると認められる取引

## 4. 利益相反管理体制

当社はコンプライアンス統括部門を利益相反管理全体統括部署とし、コンプライアンス統括部門長を利益相反管理統括責任者とします。利益相反管理全体統括部署は他の部門から独立し、対象取引の特定及び利益相反管理に関する全社的な態勢を整備・検証します。

## 5. 記録

利益相反管理統括部門は、以下に掲げる事項を適切に記録し、5年間保存します。

- (1) 対象取引の特定に係る記録
- (2) お客様の保護を適正に確保するための措置に係る記録

# 個人情報保護に関する基本方針

## (プライバシーポリシー)

ペットベスト少額短期保険株式会社(以下「当社」といいます。)は、「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」その他法令、「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン」等を遵守して、以下の通り個人情報を適正に取扱うとともに、その安全管理について適切な措置を講じます。また、お預かりしている個人情報が業務上適切に取扱われるよう、当社代理店および当社業務に従事している者等への指導・教育の徹底に努めます。以下に記載の内容についても適宜見直しを行い、改善に努めてまいります。

### ① 個人情報の取得

当社は、業務上必要な範囲で、かつ、適法かつ公正な手段で個人情報を取得いたします。なお、当社は、電話またはインターネットを通して取得した個人情報については、申込書に代わるものとして録音・記録・保存を行っております。

### ② 個人情報の利用目的について

当社では、次の業務を実施する目的に必要な範囲内で個人情報を利用いたします。利用目的は、ホームページ等で公表するほか、申込書・パンフレット等に記載いたします。また、利用目的を変更する場合には、その内容をご本人に通知するか、ホームページ等に公表いたします。

(1) 保険契約の引受審査・引受・維持管理

(2) 適正な保険金等の支払

(3) 保険商品の案内、募集および販売

(4) 関連会社・提携会社を含む各種商品・サービスの案内・提供

(5) 各種イベント・キャンペーン・セミナー等の案内、各種情報の提供

(6) 市場調査ならびにデータ分析やアンケートの実施等による新たな商品・サービスの開発・研究

(7) 当社社員の採用、販売基盤(代理店等)の新設・維持管理

(8) 他の事業者から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合において、委託された当該業務

(9) 問い合わせ・依頼等への対応

(10) その他、上記(1)から(9)に付随する業務ならびにお客様とのお取引および会社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために行う業務

利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報を取扱うときは、個人情報保護法第16条第3項各号に掲げる場合を除き、ご本人の同意を得るものといたします。

### ③ 個人データの第三者への提供

当社では、次の場合を除いて、ご本人の同意なく個人データを第三者へ提供することはありません。

➤ 法令に基づく場合

➤ 当社の業務遂行上必要な範囲で、保険代理店を含む委託先に取扱いを委託する場合

### ④ センシティブ情報の取扱い

お客様のセンシティブ情報につきましては、「保険業法施行規則第53条の10」および「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン第6条」により、お客様の同意に基づき業務遂行上必要な範

困で利用するなど、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる場合に利用目的が限定されています。当社は、これらの利用目的以外には、センシティブ情報を取得、利用または第三者提供いたしません。

⑤ ご契約内容、保険金請求に関するご照会

ご契約内容および保険金請求に関するご照会については、保険証券に記載の電話番号にお問い合わせ下さい。ご照会者をご本人であることを確認させていただいたうえで対応させていただきます。

⑥ 個人情報保護法に基づく保有個人データに関する事項の通知、開示・訂正等・利用停止等

個人情報保護法に基づく保有個人データに関する事項の通知、開示・訂正等・利用停止等に関するご請求(以下「開示等請求」といいます。)については、下記「8. お問い合わせ窓口」にご請求ください。ご請求をご本人であることを確認させていただくとともに、当社所定の書式にご記入いただいたうえで手続きを行い、後日、原則として書面で回答いたします。開示等請求については、回答にあたり、当社指定の手数料をいただくことがあります。開示請求等の手続きについては、「個人情報保護法に基づく開示等請求手続きについて」をご覧ください。

⑦ 個人データの安全管理措置

当社では、取扱う個人データの漏えい、滅失またはき損の防止その他の個人データの安全管理のため、取扱規程等の整備および安全管理措置に係る実施体制の整備等、十分なセキュリティ対策を講じるとともに、利用目的の達成に必要なとされる正確性・最新性の確保に努めております。また、当社が、外部に個人データの取扱いを委託する場合には、委託先の選定基準を定め、あらかじめ委託先の情報管理体制を確認し、委託業務遂行状況を監視するなど、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

⑧ お問い合わせ窓口

当社は、個人情報の取扱いに関する苦情・相談に対し、適切・迅速に対応いたします。当社の個人情報の取扱いや保有個人データに関するご照会・ご相談、個人データの安全管理措置等に関するご質問は、下記までお問い合わせください。また、当社からのEメール、ダイレクトメール等による新商品・サービスのご案内について、ご希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までお申し出ください。

**ご相談・お問い合わせ窓口**

ペッツベスト少額短期保険株式会社 お客様相談窓口

TEL:(フリーダイヤル) 0120-744-125 受付時間:10:00~18:00 土・日・祝日・年末年始を除く

# 財産の状況

## 1. 計算書類

損益計算書

貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

株主資本等変動計算書

## 2. 保険金等の支払能力の充実の状況

## 3. 有価証券または金銭信託の取得価額 または契約価額、時価および評価損益



## 1. 計算書類

当社は、保険業法第 272 条の 17 の規定により公衆の縦覧に供する書類のうち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本変動計算書等について、会社法第 436 条第 2 項第 1 号の規定に基づき、監査法人アンピシヤスによる監査を受け、監査報告書を受領しています。

### 損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成 25 年度	平成 26 年度
	平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで
	金 額	金 額
<b>経常収益</b>	220,664	380,403
保険料等収入	220,651	364,731
保険料	220,651	341,766
再保険手数料	—	22,965
責任準備金等戻入額	—	9,155
支払準備金戻入額	—	956
責任準備金戻入額	—	8,198
資産運用収益	12	16
利息及び配当金等収入	12	16
その他経常収益	—	6,500
<b>経常費用</b>	392,143	463,571
保険金等支払金	59,625	151,714
保険金	56,924	102,482
解約返戻金等	2,701	3,300
再保険料	—	45,931
責任準備金等繰入額	26,408	—
支払備金繰入額	1,509	—
責任準備金繰入額	24,898	—
事業費	193,379	235,809
営業費及び一般管理費	185,302	231,650
税金	3,518	1,426
減価償却費	4,558	2,732
その他経常費用	112,730	76,047
保険業法第 113 条繰延資産償却費	112,730	74,513
その他の経常費用	—	1,534
保険業法第 113 条繰延額(△)	—	—
<b>経常利益</b>	△171,479	△83,167
特別利益	—	—
特別損失	—	0
税引前当期純利益	△171,479	△83,167
法人税等合計	1,582	2,122
法人税及び住民税	1,582	2,122
<b>当期純利益</b>	△173,062	△85,289

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	平成 25 年度 平成 26 年 3 月 31 日現在	平成 26 年度 平成 27 年 3 月 31 日現在
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金及び預貯金	72,873	69,184
現金	57	66
預貯金	72,815	69,118
有形固定資産	281	161
その他有形固定資産	281	161
無形固定資産	2,611	—
ソフトウェア	2,611	—
代理店貸	16	—
再保険貸	—	22,965
その他資産	195,944	137,155
未収金	36,357	53,115
前払費用	529	—
保険業法第 113 条繰延資産	154,504	79,991
その他の資産	4,552	4,049
供託金	15,000	20,000
資産の部合計	286,728	249,467
(負債の部)		
保険契約準備金	75,018	65,862
支払備金	19,691	18,734
責任準備金	55,327	47,128
代理店借	275	2,039
再保険借	—	45,931
その他負債	31,916	21,405
未払法人税等	1,512	1,744
未払金	18,726	16,723
預り金	4,668	1,734
仮受金	7,009	1,202
負債の部合計	107,210	135,238
(純資産の部)		
資本金	768,200	778,200
資本剰余金	502,700	512,700
資本準備金	502,700	512,700
利益剰余金	△1,091,381	△1,176,671
その他利益剰余金	△1,091,381	△1,176,671
繰越利益剰余金	△1,091,381	△1,176,671
純資産の部合計	179,518	114,228
負債及び純資産の部合計	286,728	249,467

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	平成 25 年度 平成 26 年 3 月 31 日現在	平成 26 年度 平成 27 年 3 月 31 日現在
	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
保険料の収入	201,461	310,113
保険金等支払による支出	△56,781	△102,492
解約返戻金等支払による支出	△2,563	△3,460
事業費の支出	△178,760	△220,507
供託金の預入れによる支出	△4,000	△5,000
その他	56	11
小 計	△40,586	△21,335
利息及び配当金等の受取額	5	12
法人税等の支払額	△811	△2,365
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△41,392</b>	<b>△23,688</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
保険業法第 113 条繰延資産の取得による支出		
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入れによる収入		
貸付けによる支出		
借入金の返済による支出		
株式の発行による収入	52,000	20,000
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>52,000</b>	<b>20,000</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	—
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>10,607</b>	<b>△3,688</b>
<b>現金及び現金同等物期首残高</b>	<b>62,266</b>	<b>72,873</b>
<b>現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>72,873</b>	<b>69,184</b>

# 株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科 目	平成 25 年度	平成 26 年度
	平成 26 年 3 月 31 日現在	平成 27 年 3 月 31 日現在
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	738,700	768,200
当期変動額		
新株の発行	29,500	10,000
当期変動額合計	29,500	10,000
当期末残高	768,200	778,200
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本準備金</b>		
当期首残高	473,200	502,700
当期変動額		
新株の発行	29,500	10,000
当期変動額合計	29,500	10,000
当期末残高	502,700	512,700
<b>資本剰余金合計</b>		
当期首残高	473,200	502,700
当期変動額		
新株の発行	29,500	10,000
当期変動額合計	29,500	10,000
当期末残高	502,700	512,700
<b>利益剰余金</b>		
<b>その他利益剰余金</b>		
<b>繰越利益剰余金</b>		
当期首残高	△918,319	△1,091,381
当期変動額		
当期純損失	△173,062	△85,289
当期変動額合計	△173,062	△85,289
当期末残高	△1,091,381	△1,176,671
<b>利益剰余金合計</b>		
当期首残高	△918,319	△1,091,381
当期変動額		
当期純損失	△173,062	△85,289
当期変動額合計	△173,062	△85,289
当期末残高	△1,091,381	△1,176,671
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	293,580	179,518
当期変動額		
新株の発行	59,000	20,000
当期純損失	△173,062	△85,289
当期変動額合計	△114,062	△65,289
当期末残高	179,518	114,228
<b>純資産合計</b>		
当期首残高	293,580	179,518
当期変動額		
新株の発行	59,000	20,000
当期純損失	△173,062	△85,289
当期変動額合計	△114,062	△65,289
当期末残高	179,518	114,228

## 【個別注記】

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産の減価償却の方法

定率法によっております。

##### ②無形固定資産の減価償却の方法

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

#### (2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。ただし、営業費及び一般管理費等の費用は税込方式によっております。

### 2. 貸借対照表に関する注記

(1)有形固定資産の減価償却累計額は、613千円であります。

(2)取締役等に対する金銭債務は、2,776千円であります。

(3)1株当たりの純資産額は、2,450円84銭であります。

### 3. 損益計算書に関する注記

(1)正味収入保険料は、292,534千円であります。

(2)正味支払保険金は、102,482千円であります。

(3)利息及び配当金収入の内訳は、預貯金利息16千円であります。

(4)1株当たりの当期純損失は、1,832円57銭であります。

### 4. キャッシュ・フロー計算書に関する注記

(1)現金及び現金同等物の範囲は、現金と普通預金であります。

### 5. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1)発行済株式に関する事項

(単位:株)

株式の種類	前期末	増加	減少	当期末
普通株式	46,208	400	—	46,608

なお、増加の内訳は、第三者割当による新株の発行によるものであります。

#### (2)自己株式に関する事項

該当事項はありません。

#### (3)当期末における新株予約権の目的となる株式数

①平成19年新株予約権 普通株式 170株

②平成20年新株予約権 普通株式 518株

#### (4)配当に関する事項

該当事項はありません。

## 6. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産の他、事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

## 7. 金融商品に関する注記

### (1)金融商品の状況に関する事項

#### 金融商品に対する取組方針

当社は、ペットの医療保険及び損害保険の販売事業を行っております。この事業を行うため新株発行による直接金融によって必要な資金を調達しております。また、一時的な余資は安全性の高い金融資産で運用し、投機的な取引は行わない方針であります。

### (2)金融商品の時価等に関する事項

平成 27 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
①現金及び預貯金	69,184	69,184	—
②未収金	53,115	53,115	—

#### 注 金融商品の時価の算定方法

##### ①現金及び預貯金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### ②未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## 8. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

## 2. 保険金等の支払能力の充実の状況

(単位:千円、%)

	平成25年度末	平成26年度末
(1) ソルベンシー・マージン総額	36,471	54,542
① 純資産の部合計(社外流出予定額、評価・換算差額等及び繰延資産を除く。)	25,013	34,237
② 価格変動準備金	—	—
③ 異常危険準備金	11,458	20,305
④ 一般貸倒引当金	—	—
⑤ その他有価証券の評価差額(税効果控除前)(99%又は100%)	—	—
⑥ 土地含み損益(85%又は100%)	—	—
⑦ 契約者配当準備金の一部(除、翌期配当所要額)	—	—
⑧ 将来利益	—	—
⑨ 税効果相当額	—	—
⑩ 負債性資本調達手段等	—	—
告示(第14号)第2条第3項第5号イに掲げるもの(⑩(a))	—	—
告示(第14号)第2条第3項第5号ロに掲げるもの(⑩(b))	—	—
⑪ 控除項目(—)	—	—
(2) リスクの合計額	34,985	22,609
保険リスク相当額	33,937	21,843
R1 一般保険リスク相当額	33,937	21,843
R4 巨大災害リスク相当額	—	—
R2 資産運用リスク相当額	728	1,647
価格変動等リスク相当額	—	—
信用リスク相当額	728	691
子会社等リスク相当額	—	—
再保険リスク相当額	—	726
再保険回収リスク相当額	—	229
R3 経営管理リスク相当額	1,039	704
ソルベンシー・マージン比率	(1)/{(1/2)×(2)}	208.5
		482.4

## 3. 有価証券または金銭信託の取得価額または契約価額、時価および評価損益

当社は、有価証券および金銭信託を取得ならびに保有しておりません。



## ペットベスト少額短期保険の現状2015

平成27年7月発行

発行元：ペットベスト少額短期保険株式会社 総務部

所在地：東京都千代田区九段南4-6-10 近清堂ビル6 F

電話番号：03-5211-1525